

# 矢吹中学校改築事業 1月17日

校舎 期工事（保健室・家庭科室等）・プール武道場建築工事は計画どおり順調に進められております。（1/17 現在、進捗率は63%）

校舎 期工事は、12月中に躯体工事を完了し、現在、屋根工事、サッシ工事等を行っています。

プール・武道場建築工事は現在、プール本体の組み立てが行われています。

今回はプールの組立状況を紹介します。本プールは耐久性に非常に優れたステンレス水槽を採用しています。約60枚に分割されて搬入されステンレス鋼板（厚1.5-2.5mm）は、現場溶接により接合され一体的な水槽を作ります。

プールの耐久性に大きく影響を与えるステンレス鋼板の接合は綿密な施工管理のもと専門の技術者による特殊溶接が行われ完了後に溶接状況を確認するための各種検査が行われます。



プールの水槽

## 接合部検査の様子



真空実験用器

### バキューム検査（真空実験）

試験面を洗浄の上、石鹼水を塗り真空実験機を試験面（接合部）に平行になる様にセットします。



減圧

ゲージ

セット後、真空試験用器内圧力を下げ空気の漏れがないか観察します。

空気の漏れがある場合 気泡が泡となって出てくるため、再度プール床の溶接を行います。



### 浸透探傷試験

（カラーチェック）

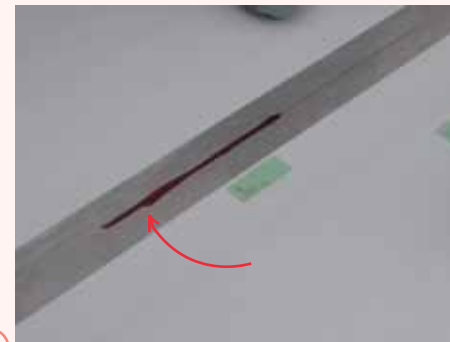
【前処理】試験面を洗浄

【浸透処理】試験面（溶接表面）に浸透液（左図赤印）を塗ります。表面に傷があると液が浸透します。

【洗浄処理】液が傷の中に浸透したら表面についている浸透液を取り除きます。

【現像処理】白色の現像液を塗ると傷の中に残っている浸透液が現像液によって吸い出され表面に広がり、赤く色が付きます（指示模様）

【観察】指示模様を観察し、傷の種類を識別を行います。



\* 上記検査を全ての溶接個所で実施した結果、異常なしを確認しました。